

令和5年度香川県動物愛護推進懇談会 要旨

日時：令和6年3月22日（金）10:00～12:00

場所：香川県社会福祉総合センター7階 特別会議室

1 あいさつ

（香川県健康福祉部 木村部長）

本県では、「香川県動物愛護管理推進計画」を策定し、様々な施策に取り組んでいる。さぬき動物愛護センターを中心に適正飼養の普及啓発や犬猫の適正な譲渡に取り組むとともに、保健所では、地域で取り組む野犬、野良猫対策を推進し、殺処分の減少に努めている。このような取り組みにより、令和3年度には犬の殺処分ワースト1位を返上したが、令和4年度には再びワースト1位となり、より一層の積極的な取り組みが必要と感じている。委員の皆様からご意見等をいただき、犬猫の殺処分数の減少と人と動物との調和のとれた共生社会の実現に取り組んでいきたい。

2 議題

（1）会長の選任について

●委員の互選により、中山 明紀 委員が会長に選任された。

◇事務局から「本懇談会は公開で行う」旨、説明があった。

（2）香川県動物愛護管理推進計画令和5年度実施状況について

事務局からの説明

資料1：香川県動物愛護管理推進計画令和5年度実施状況

委員からの質問・意見

●岩崎委員

丸亀市川西地区もモデル地区として野犬の増えない・いない地域づくりの活動をしているが、こういう活動は1年だけでは効果がないので何年か継続して実施してほしい。

◇事務局

継続して実施していくとともに、他の地域においても実施していきたい。

●寺山委員

飼い主のいない猫対策や地域猫活動の取り組みについて、市町の助成制度は？さぬき市を含め市町の取り組みを強化できればいいのではないかと思う。こういう問題は飼う側の意識が大事だと考える。

◇事務局

飼い犬猫については、全市町が助成制度を設けている。飼い主のいない猫や地域猫については一部の市町で助成制度を設けている。飼い主のいない猫問題について、県だけで解決するのは困難であるから、市町と協力して取り組んでいきたい。

●荒岡委員

動物愛護センター開所前に比べ、譲渡数が増え、その多くが譲渡ボランティアへの譲渡ということだが、譲渡ボランティアの制度はセンター開所後にできたものか？また、譲渡ボランティアのもとで新しい飼い主に譲渡できなかった犬猫はどうなるのか？

◇事務局

譲渡ボランティアの登録制度は動物愛護センター開所前からある。譲渡ボランティアのもとで新しい飼い主に譲渡できなかった犬猫は、ボランティアが終生飼養することとなる。

●大林委員

令和4年度の犬の殺処分数が増えた要因は？また、動物愛護センターは遠いので近くの譲渡ボランティアから譲渡を受けたいという話を聞いたことがあるが、譲渡ボランティアから譲渡を受ける要件はあるか？

◇事務局

殺処分が増えた要因を検証していないのではっきりとはわからないが、譲渡数が減ったのも一因かもしれない。譲渡ボランティアからの譲渡を受ける要件は、ボランティアごとに決めているので一律なものはない。

(3) 香川県動物愛護管理推進計画令和6年度実施計画について

事務局からの説明

資料2：香川県動物愛護管理推進計画令和6年度実施計画

委員からの質問・意見

●寺山委員

飼っている人が恩恵を受けるような制度があればいい。例えば、「ペットと住みやすい街宣言」をし、アピールしてはどうか？所有者明示をしていれば、割引を受けられるとかなら、所有者明示をするようになるのではないか？

◇事務局

宣言までは今のところ考えていないが、様々なご意見を参考にしながら効果的な普及啓発に努めたい。

●荒岡委員

しつけの有無で、犬の飼いやすさが大きく変わってくる。しつけが出来ているかどうかで災害時の対策にもなる。譲渡動物についてもそういうところに力を入れてほしい。

●川西委員

全くその通りで、しつけが出来ているかどうかで全く違う。動物愛護センターでしっかりふれあい、訓練することで譲渡されやすくなると思う。

●中山会長

令和4年度に殺処分数が増加し、再び全国ワースト1位になった状況を踏まえ、令和6年度はどのようなことを重点的に取り組むのか。

◇事務局

動物愛護センターでの犬猫の譲渡数は減少傾向にあり、あらためて、県民に譲渡制度について周知していきたい。一方で、保健所に收容される犬猫を減らすための普及啓発にも引き続き取り組みたい。

(4) 香川県人とペットの災害対策指針（仮称）（案）について

事務局からの説明

資料3：香川県人とペットの災害対策指針（仮称）（案）

委員からの質問・意見

●岩崎委員

熊本地震の時に避難所にペットを連れて行ったが、鳴き声等の苦情があり、車に移動させたと聞いている。避難所には具体的にはどんな設備が必要なのか？また、県ではケージ類の備蓄はあるのか？

◇事務局

能登半島地震の際に派遣された職員から、トレーラーハウスを活用した同行避難所もあったと聞いている。避難所の中で人とペットの居住区域を分けるのが一般的だが、他の方法も検討していく必要がある。さぬき動物愛護センターに、ケージ類や食料等を災害用に備蓄している。

●中山会長

人とペットの同行避難について、市町での取り組みはあるか？

●小西委員

宇多津町では、避難訓練を実施したが、参加者が少なかった。危機管理部局と連携し、あらためて周知や対策をしていきたい。

●中山会長

災害時の対策として、岩手大学には動物の移動診療車があると聞いている。他の大学について対策を伺いたい。

●尾崎委員

鳥取大学では、特段の動きはない。近隣の獣医系大学でも聞いていない。香川県内で同行避難可能な避難所はどれくらいあるのか？

◇事務局

県内では観音寺市以外は把握していない。

●尾崎委員

同行避難所だけでなく、必要な物資等もリストで明示してほしい。そこでトレーニングの必要性も明示しておけば、住民としても具体的に何をすべきか分かりやすいのではないか。

以 上